



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

讃美★新358	神なく望みなく	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新176	イエスは女を呼び給	—	同
交読詩篇	27:1~14	—	同
祈			渡邊頼子師
聖書	マルコ10:46~52		司会者
説教	「バルテマイの癒し」		渡邊貞雄師
献頌	金★新457 憂いと罪より		個人個人で
祝	新63 父、御子、御霊の		(起立) 一同
			★印. = 全節朗読

報告 司会者
 受 = な し / 操 = 渡邊師 / A = な し / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2022年2月27日 VOL. 45-09 No. 2365

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 本日は2月最後の聖日、明後日からは3月(弥生)です。「木草(きくさ)弥(いや)生(お)ひ茂る月」です。本格的な春に備えましょう。
- ▼ 本日の礼拝後、ZOOMによる「教会総会」が持たれます。ぜひご出席を!
- ▼ 3月の「教会奉仕者表」はオンラインの様子を見ての発行となります。

- 来週礼拝マルコ11:1~11
- 主 題「子ろばに乗る主」

多くの人たちが彼を黙らせようとしたしなめたが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。

マルコ 一〇・四八



- ▼ 3月1日(火)午前は、中部教区会(ZOOM)です。中部修養会(合同礼拝)などの議題もあります。お祈りを!
- ▼ 隣家の解体工事は、3月初旬までの予定です。ご注意ください。
- ▼ 関先生のお母様のために、続けてお祈り下さい。



にれ はみ

2022年2月20日
聖日礼拝
マルコ10:13~16
「子どもを祝福する主」
説教 渡邊貞雄 師



ここは親に抱かれた子どもが、主の身元で祝福の祈りを請うた出来事です。

I、親の職分(責任)

職分とは「その職についている者が、しなければならない仕事」と定義され、また親業とは「一人の人間を生み、養い、社会的に一人前になるまで、育てる」こととされる。聖書には、子どもは神からの賜物であり、親の守りの下に養われるべきことが示されている。

この記事で親は「イエスに触れていただく…」(13)とした。これが親の最大の責任や任務である。子どもがたとえわがままで大きな負担であっても、親の切なる願いと祈りはイエスに触れて欲しいということであり、最優先で子どもの心に触れて欲しいと、求めて行動することではないか。

II、弟子たちの職分

主イエスの弟子たちは、側に来たその親子を叱って拒絶した(13)。それをご覧になられた主は、弟子たちの態度に激しく憤られた(14)。

主は先に弟子たちに、子どもを受け

入れる心について語られた。しかし神の言葉がとどまらず、それどころか弟子たちは、自分たちの中で誰が一番偉いかと語り合っていたのだとある(9:33~35:37)。

私たちはどこまでいっても、罪を赦された人間(罪人)であることを深く覚え、主に栄光を返そう。

III、主イエスの職分

ここに神の国を「幼児のように受け入れる」主の職分を見る(15)。正しいと主張する99匹の羊を残し、1匹の迷う羊を探し求める主の姿でもある。

子どもたちこそ神の国の特質である。その純粋さ、無邪気さ、素直さなどを私たちに強調された。私たちは子ども目線で主イエスに近づく魂であり、人と触れ合える幸いな者なのである。

更に主は、幼児を抱き手を置き、祝福の祈りを捧げられた。「受け入れる」ことの実践を示してくださった(16)。

そのような主イエスだからこそ「私もあんな人になりたい」と、その足跡に従う者がついて行くのだ。